

しょうがい りゆう さべつ かいしょう はいりよ くふう ていあん
③障害を理由とする差別解消のための配慮や工夫の提案

	ていあんしゃ 提案者	ていあん かかわしょうがいしゃ 提案に係る障害者			はいりよ くふう ていあん 配慮や工夫の提案
		ねんれい 年齢	せいべつ 性別	しょうがいしゅべつ 障害種別	
1	ほんにん 本人 しょうがいしゃ かぞく 障害者の家族	60	おんな 女	したい ふじゆう 肢体不自由 ないぶしょうがい 内部障害（ぜんそく しんぞう 喘息と心臓のうしんぼうちゅうかく 右心房中隔欠損症）	とくべつあつか な つら かんが ほ 特別扱いするので無く、辛さを考えて欲しい。 きゅう しゅ くぶん こうろうしょう ぎょうせい いし かんが いただ 級と種の区分も厚労省と行政、医師はよく考えて頂きたいです。 げきつう かつとう いま こと かし がいしゅつ なさ おも 激痛と葛藤、今までできていた事や家事、外出ができなくなり情けなく思っています。
2	しょうがいしゃ かぞく 障害者の家族	7	おとこ 男	はったつしょうがい 発達障害	はったつしょうがいじ みんかん なら ごと むずか 発達障害児は民間での習い事が難しいです。できれば、スポーツセンターの教室を増やして欲しいです。実際、息子 すいえいきょうしつ かよ しょうがい はな たいおう おやこ とどもも きず を水泳教室に通わせてみましたが、コーチに障害のことを話したにもかかわらず、ひどい対応でした。親子共々傷つ きました。障害に理解のあるコーチで障害者の教室を増やしてほしいです。
3	しょうがいしゃ かぞく 障害者の家族	30	おとこ 男	はったつしょうがい 発達障害	しょくば わす じょうし め どうぜんきび おも はったつしょうがいこうひょう しょく え 職場でミスや忘れがあり、上司やまわりの目は当然厳しいものと思われれます。発達障害と公表して職を得たわけでは なく、また受診してそう判定されたのではないのですが本人にどう気づいてもらうかが家族の課題です。（受診につ なげること）

ていあんしゃ 提案者	ていあん かかわ しょうがいしゃ 提案に係る障害者			はいりょ くふう ていあん 配慮や工夫の提案
	ねんれい 年齢	せいべつ 性別	しょうがいしゅべつ 障害種別	
4 その他				<p>くるまいす ひと の おうだんほどう わた ばあい おうだんほどう しゃどう さかいめ だんさ たい でき ①車椅子に人を乗せて横断歩道を渡る場合、横断歩道と車道の境目に段差がある。ここを平らに出来ないか。ちよつ とした段差であるが車椅子が乗らず力を入れて車椅子をもち上げて人道に入るのが大変である。</p> <p>おうだんほどう わた とき みどり ひょうじ じかん すこ なが ろうじん しょうがいしゃ わた わた お ②横断歩道を渡る時、緑の表示の時間をあと少し長くできないものか、老人、障害者は渡りきれなくて、渡り終わる すこ まえ みどり てんめつ 少し前に緑が点滅してくる。</p> <p>せいしんしょうがい かぞく かたがた しえん だんたい はな あ だんたい しほう どう しょうかい れんらくき ③精神障害を家族にもっている方々のための支援団体、話し合いの団体があるはずであるが、市報等の紹介で連絡先 か なかま どうし れんらく たす あ ひつよう おも また こども となりきんじょ など書いていただけないものか。仲間同志の（連絡、助け合い）が必要であると思う。又、子供のいじめ、隣近所の ところ ひはん どう おな なかま どうし こ であ ところ たす ところ ばあい こどもたち しどう だんたい 心ない批判等を同じ仲間同志、「かけ込み寺」のような所で助ける所、場合によってはいじめる子供達への指導団体 しほう しょうかい など市報で紹介も…</p>
5 しょうがいしゃ 障害者	44	おとこ 男	はったつしょうがい 発達障害	<p>はったつしょうがいしゃむ しょうがい しゃてちようせいど そうせつ ねが せいしんしょうがいしゃ む てちよう べつ 発達障害者向けの障害者手帳制度を創設願います（精神障害者向けの手帳とは別のものです）</p> <p>はったつしょうがい しゃむ しょくぎようきゆうじん じゆうじつ せつ ねが いっぱんむ つと 発達障害者向けの職業求人が、充実することを切に願います。（一般向けでは勤まらないおそれがあるため）</p>
6 ほごしゃ 保護者	2	おとこ 男	なんびょうしてい 難病指定 VATER症 うこうぐん 候群	<p>しりつ ようちえん せっち かんごし い かろう 市立の幼稚園を設置してほしい。そうすれば看護師を入れることも可能になるのではないだろうか。</p> <p>ようじきょうしつめい まいとし しゃくしょ でむ ようじ きょうしつめい いちばんりかい ようちえん おも 〇〇（幼児教室名）が毎年市役所に出向いているようだが、〇〇（幼児教室名）こそ一番理解ある幼稚園だと思ふの し ほう すこ りかい かんごし なか はいせつ こま じっさい さくねん で市の方でも、もう少し理解いただきたい。看護師のいない中で排泄ケアも細かくしてくださりました。実際に昨年 がつ しゅう からだ つよ きゅうせいちよう ことし にゆうえん よてい 4月からプレに週2でいれていただき体も強くなりましたし、急成長しました。今年から入園予定です。</p>

	ていあんしゃ 提案者	ていあん かかわ しょうがいしゃ 提案に係る障害者			はいりよ くふう ていあん 配慮や工夫の提案
		ねんれい 年齢	せいべつ 性別	しょうがい しゅべつ 障害種別	
7	ほいくえん じゅうじしゃ 保育園従事者				<p>ほいくえん めい えんないけんしゅう ひと きゅうきゅうきゅうめいこうしゅう と い まいとし かいじょう しょうほうしょ きょうりょく しどう 〇〇（保育園名）では、園内研修の一つに救急救命講習を、取り入れており、毎年1回以上消防署の協力・指導の</p> <p>もと しょう ほうほう おうきゅうしよち ぜんしよくいん まな しよくいん なか ちょうかく しょうがい も ひとり ほいくし 下、AEDの使用法や応急処置を全職員で学んでいます。職員の中に聴覚障害を持つものが一人おります。保育士</p> <p>しかく も ほか しょういん どうよう たんにん しごと ほいく しごと こども じょうたい てきかく はあく ひ の資格を持ち、他の職員と同様にクラス担任の仕事をごなしています。保育の仕事は子供の状態を的確に把握し、必</p> <p>つよう えんじょ おこな ようす まいしゅう まいにち かん へんか じょうほう きょうゆう ほいく しごと いのちづな 要な援助を行います。その様子は毎週、または毎日、時間によっても変化します。情報の共有が保育の仕事の命綱</p> <p>ちょうかく しょうがい き ほいく しごと おろそ ほいくし しかく ゆう でき です。聴覚に障害があり聞こえないから、保育の仕事が疎かになるのでは保育士の資格を有することは出来ません。</p> <p>わたし いしそつう しゆわ もち もじ かくにん きろく のこ しかく じょうほうこうかん 私たちは、意思疎通のために手話も用いますが、文字にして確認を行い記録としても残します。視覚での情報交換と</p> <p>きょうゆう たいせつ ひび かん にちじょう め つか じょうほう わ あ でき こ それを共有することの大切さを日々感じています。日常では目を使い情報を分かち合うことが出来るのに、子どもの</p> <p>いのち すく しゆだん ひと おんせい こうしゅうじ き くだ おんせい したが なんと い 命を救う手段の一つであるAEDには音声のみ。講習時も「よく聞いて下さい。音声に従うだけです。」と何度も言</p> <p>たし おんせい き でんき い れんしゅう く われました。確かに音声を聞いていれば、AEDの電気ショックを入れるタイミングもわかりますし、この練習を繰</p> <p>かえ つか かた な ほんとう つか とき じょうたい り返していくことで使い方には慣れてきます。しかし、本当に使わなければならない時パニック状態になるかもしれ</p> <p>れんしゅう しょんしやどうぜん しんきょう おも じょうたい よそく ちょ ません。どんなに練習をごなしても、初心者同然の心境になってしまうと思います。この状態を予測しながらも、聴</p> <p>うかしょうがい しよくいん おな つか みみ す おんせい しゅうちゅう こうしゅうかい ぎもん も ほか しく もじ で 覚障害の職員に同じAEDを使い、耳を澄まして音声に集中する講習会に疑問を持ちました。他の市区では文字が出</p> <p>ふきゅう げん そんざい もじ つ せっち いただ るAEDが普及しているところもあるそうです。現に存在する文字ガイド付きAEDを設置して頂きたい。AEDは</p> <p>ひと しょう きゅうめいきざい いがい か せつきよくてき すず しょうがいし どんな人でも使用できる救命機材であるべきですし、AED以外でもユニバーサル化を積極的に進めていき、障害者</p> <p>すべ ひと いまいじょう せいかつ まち のみならず全ての人が今以上に生活しやすい街になれるはずです。</p>

ていあんしゃ 提案者	ていあん かかわ しょうがいしゃ 提案に係る障害者			はいりょ くふう ていあん 配慮や工夫の提案
	ねんれい 年齢	せいべつ 性別	しょうがい しゅべつ 障害種別	
8 ほいくえん じゅうじしゃ 保育園従事者				<p>ほいくえん めい きんむ ちょうかく しょうがいしゃ 〇〇（保育園名）で勤務している聴覚障害者です。</p> <p>しよくば まいとしあき きゅうめい こうしゅう じゅこう きかい わたし かいさんか さい しょう きゅう 職場では毎年秋に救命講習を受講する機会があり、これまで私も2回参加しました。その際に使用したAEDが旧タイプのものであり、音声のみのガイドになっていて、もし万が一、自分一人ですらうすることとなった場合音声ガイドが聞こえないため、使用のタイミング等、自分で判断することが難しいと感じました。</p> <p>おんせい まん いち じぶん ひとり ばあい おんせい 仕事を始めて救命講習を受けたことをきっかけに、応急処置の方法や救命に必要な措置を学ぶことが出来たのですが、それでも手話通訳等がついていない講習では聞き逃していることが多くあると感じています。今後もこの大切な知識を忘れないためにも救命講習を受けていきたいのですが、他の受講者とも平等で安心した中で、ともに情報を得て学びたいと思います。そのためにも、新タイプのAED（文字ガイド付き）を市内の消防署に設置し、救命講習等の学びの場にも提供して頂きたいと心から願います。</p>